

辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース

第19号 平成21年7月

発行：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

湘南C-X（シークロス）都市再生事業は、独立行政法人都市再生機構が施行する土地区画整理事業、区画整理区域外の都市計画道路の整備を行う街路事業、そしてJR東日本、茅ヶ崎市及び藤沢市の共同事業であるJR辻堂駅改良事業、さらに西口広場・跨線橋や辻堂駅遠藤線デッキ、北口デッキ下駐輪場等を整備する関連公共事業により構成され、併せて、地権者と市が協働して企業誘致を行ってきました。

なかでも土地区画整理事業については、平成18年3月に事業認可の取得、本年3月6日には換地処分の公告がなされ、当初の予定とおりの迅速な進捗が図られております。この事業により整備された新たな北口交通広場は、3月11日に供用開始され、駅利用者の利便性の向上に寄与しているところです。

そして、既に産業関連機能ゾーン等において業務を開始している事業者に加え、平成21年度においては、複合都市機能ゾーン等に進出する事業者の施設建設の着工が予定されているところです。

●「まちびらき記念式典」及び「まちびらき記念イベント」について

土地区画整理事業の換地処分と交通広場・道路等の基盤施設の完成及び供用開始を湘南C-Xの「一部まちびらき」と位置づけ、併せて進出事業者による将来に向けたまちづくりのスタートを記念して、本年5月23日に、国、県、近隣市町及び地域の関係団体等から関係者を招待し「まちびらき記念式典」を開催しました。

記念式典では、神台公園に設置した記念モニュメントの除幕式と、これまでの経過と事業の成果を報告する記念式を行いました。



※神台公園に設置されている記念モニュメント

そして、まちびらき記念式典に引き続き、広域連携都市拠点としての湘南C-Xのまちづくりを、広く市の内外に発信していくため、市民参加による「まちびらき記念イベント」を開催しました。まちびらき記念イベントは、市民参加による協議型まちづくりを進めてきた湘南C-Xにおけるまちびらきの喜びを市民の方々と共有しながら、「地域の歴史と文化を学び、湘南C-Xの未来を語る」をテーマに、5月23日から28日にかけて、3つのセッションで開催しました。

5月24日（日）の悪天候により残念ながら実施を中止したり、内容を変更したものもありますが、実行委員会の皆さんにご尽力いただき、次のような内容で実施されました。

セッション1は、「地域の歴史と文化を学ぶ」と題して、明治市民センターを会場に、辻堂駅周辺の過去・現在・未来のまちの変遷を、時代のフェーズごとに、写真、模型等で展示しました。

セッション2は、「湘南C-Xのまちを知り未来を体験する」と題して、神台公園や供用開始前の道路等を会場に、神台公園での花の種蒔きやエコキャップ運動、産業関連機能ゾーンに進出した先端技術研究所見学ツアー、環境をテーマにしたエコカー等の同乗体験、そして進出事業者の敷地の一部を借りての紙飛行機作り、チャレンジ・ストラックアウト等を行いました。

セッション3は、「湘南C-Xの未来を語る・こどもからのメッセージ」と題して、「ふじさわこどもまちづくり会議」の協力を得て開催しました。こどもたちが実際に湘南C-Xを歩き、自分たちが考えた未来のまちの姿を模型を作り表現してくれました。



※「ふじさわこどもまちづくり会議」でこどもたちが考えた未来のまちの模型



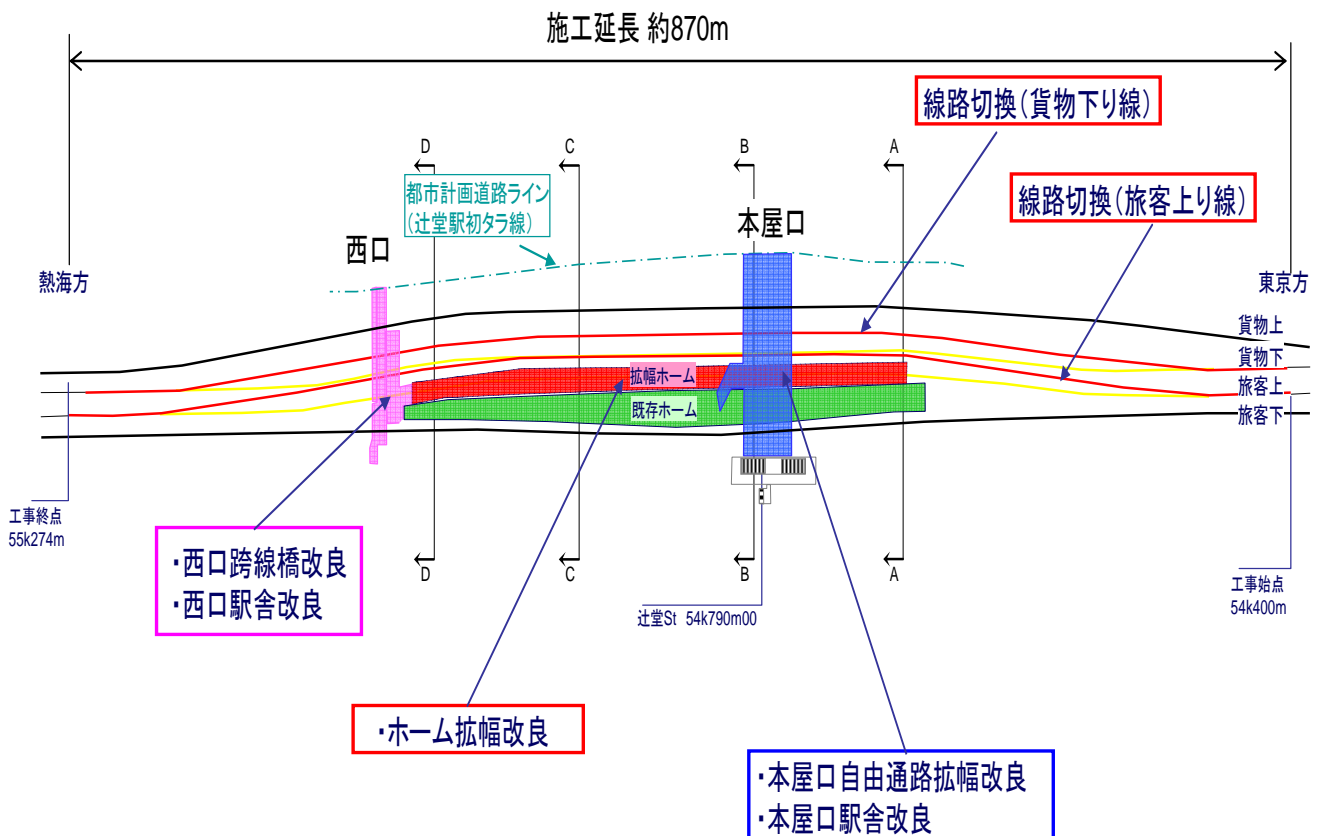
※「湘南C-Xまちづくり調整委員会 土地利用・景観部会」での検討模型

●辻堂駅改良事業について

湘南C-X都市再生事業の基幹事業の一つであるJR辻堂駅改良事業について、駅舎改良（本屋口・西口）、自由通路拡幅改良（本屋口・西口（跨線橋））及びホーム拡幅等の事業の概要をお知らせします。

全体計画としては、①本屋口自由通路の拡幅改良と、それに伴い支障となる本屋口駅舎の移転・改良。②西口跨線橋の拡幅改良と、それに伴い支障となる西口駅舎の移転・改良。③既存ホームの拡幅改良と、それに伴い必要となる貨物下り線及び旅客上り線の線路切り換えで、施工延長は約870mに渡り、平成19年度から平成23年度までの5ヶ年継続事業として、JR東日本が施行者となり、整備を図っております。

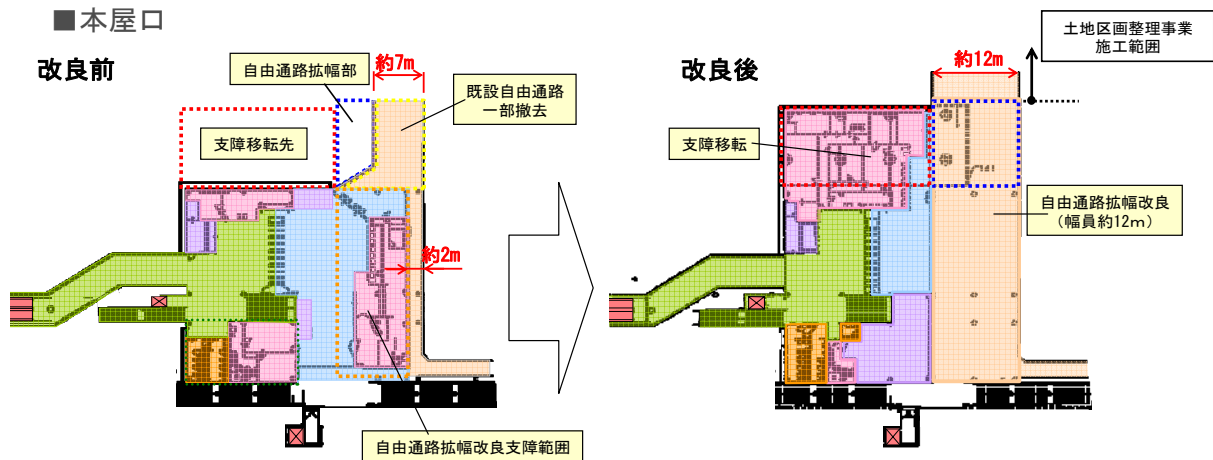
■全体計画



①本屋口自由通路及び駅舎の改良計画

改良前は、北側で7m、駅舎脇では約2mの幅員であった自由通路を、改良後は、約12mに拡幅します。これにより支障となる既存の駅事務室は、改札口の北側に移転します。

■本屋口



改良前の辻堂駅本屋口自由通路
(駅北側から望む)



改良後の辻堂駅本屋口外観イメージ図
(駅北側から望む)

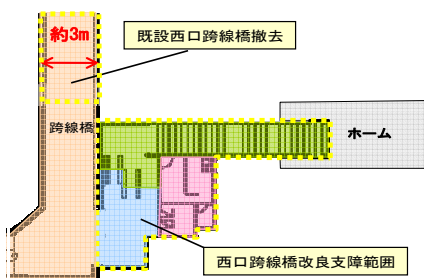


②西口跨線橋及び駅舎の改良計画

改良前幅員3mの西口跨線橋を、東京方に幅員6mで架け替えします。これにより支障となる駅舎は、移転するとともに、コンコース、事務室ともに面積が拡大されます。また、ホームと連絡するエレベーターも新設されます。

■西口

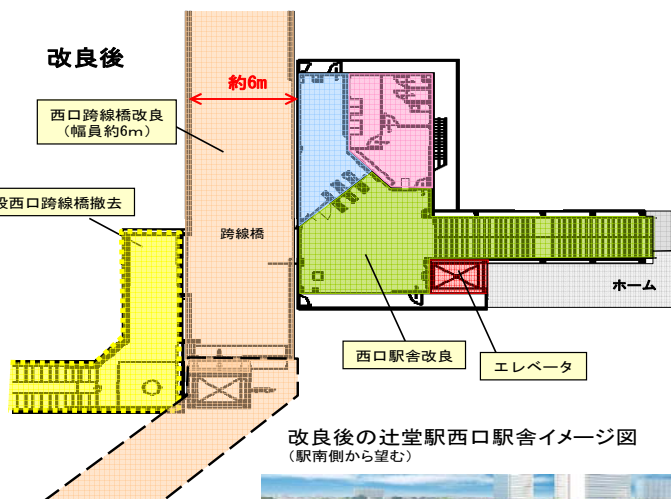
改良前



改良前の辻堂駅西口駅舎
(駅南側から望む)



改良後

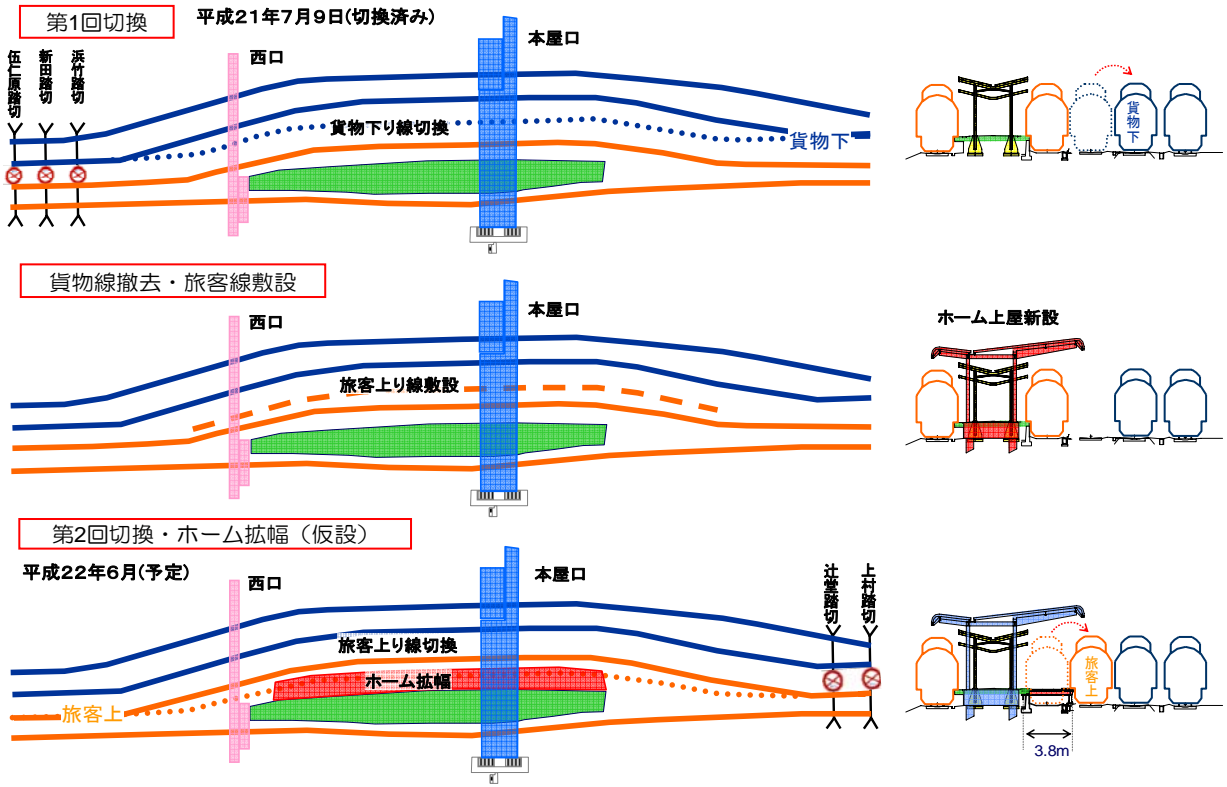


改良後の辻堂駅西口駅舎イメージ図
(駅南側から望む)



③ホーム幅及び線路切り換え

まず、貨物下り線の切り換えを行います。その後、貨物下り線の切り換えで不用となった従前の線路を撤去して、そのスペースに新たな旅客上り線を敷設し、併せてホームに上屋を新設します。そして、平成22年の6月頃に、旅客上り線の切り換えを行い、同時に仮設でホームを拡幅します。その後、本設工事で順次ホーム拡幅を行い、同年10月頃には完成の予定です。



○辻堂駅改良事業スケジュール(予定)

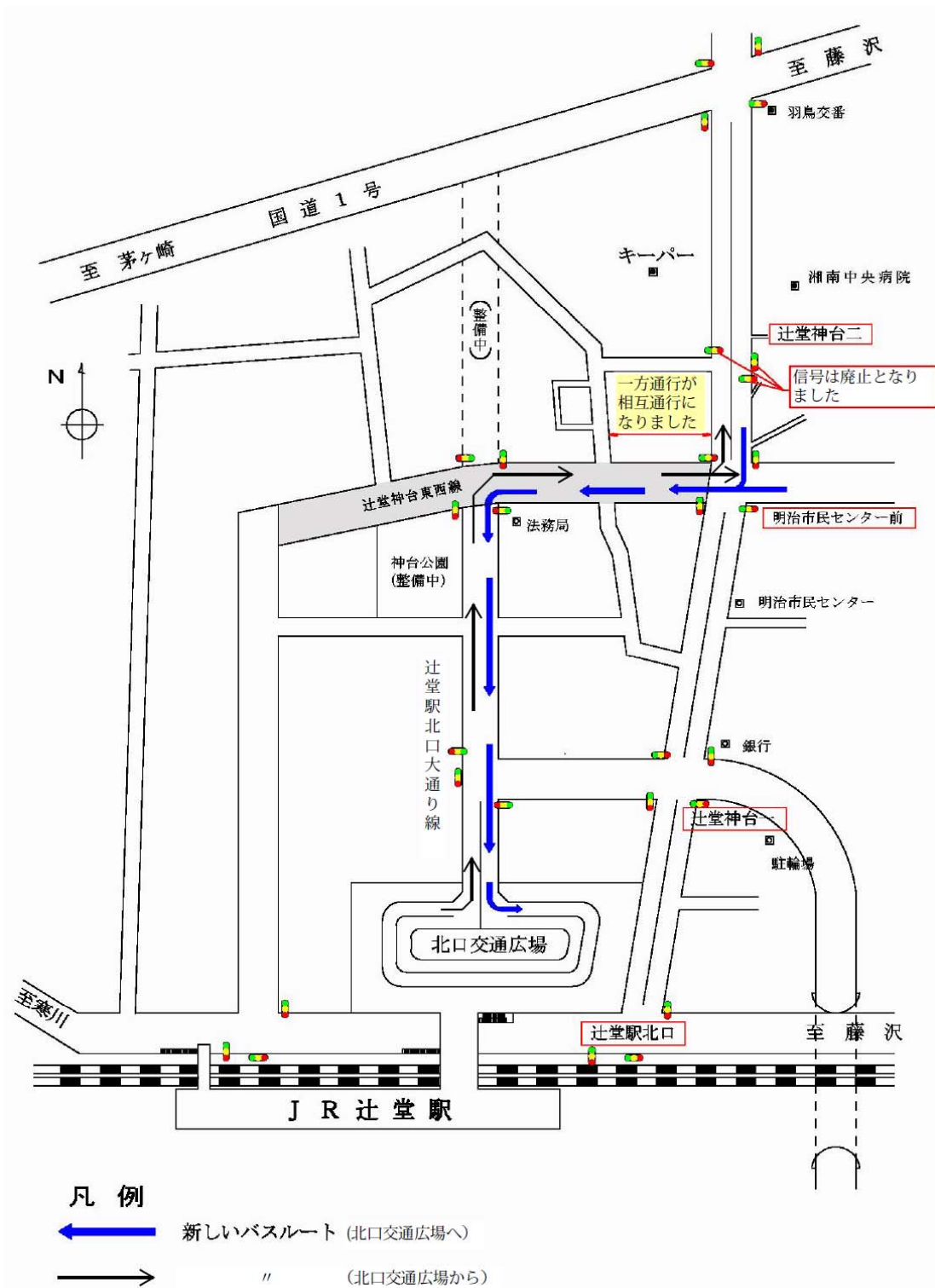
| 工事種別 | 平成19年度 | | | 平成20年度 | | | 平成21年度 | | | 平成22年度 | | | 平成23年度 | | | | | | | | | |
|---------------|--------|----|---|--------|----------|---|--------|---|----|------------------------------|---|---|--------|---|-----------|---|----|----|---|-----------|-------------------------|---------------|
| | 10 | 12 | 1 | 3 | 4 | 6 | 7 | 9 | 10 | 12 | 1 | 3 | 4 | 6 | 7 | 9 | 10 | 12 | 1 | 3 | | |
| 本屋口自由通路 | | | | | ▼既設通路仮受け | | | | | ▼既存駅舎～北口デッキ間 ▼自由通路完成(床のみ) | | | | | | | | | | ▼自由通路完成 | | |
| 本屋口駅舎 | | | | | | | | | | | | | | | ▼既存駅事務室引越 | | | | | ▼上屋完成 | ▼JR施策完成 (コンコース、トイレ等) | |
| ホーム拡幅 | | | | | ▼保守基地線撤去 | | | | | ▼貨物下り線切換 | | | | | | | | | | ▼ホーム完成 | ▼旅客上り線切換・ホーム拡幅(仮設) | |
| 西口跨線橋 西口駅舎 | | | | | | | ▼跨線橋切断 | | | ▼既設通路仮受け | | | | | ▼跨線橋鉄骨製作 | | | | | ▼駅舎・跨線橋新設 | 駅舎・跨線橋 使用開始 | |
| 西口跨線橋南側 | | | | | | | | | | | | | | | ▼測量・設計 | | | | | ▼鉄骨製作 | ▼南側跨線橋新設 | 南側跨線橋 使用開始 |
| | | | | | | | | | | | | | | | ▼協定変更等協議 | | | | | ▼施工協定変更 | ▼撤去・片付け等 | |

●辻堂神台東西線が全面相互通行になりました。

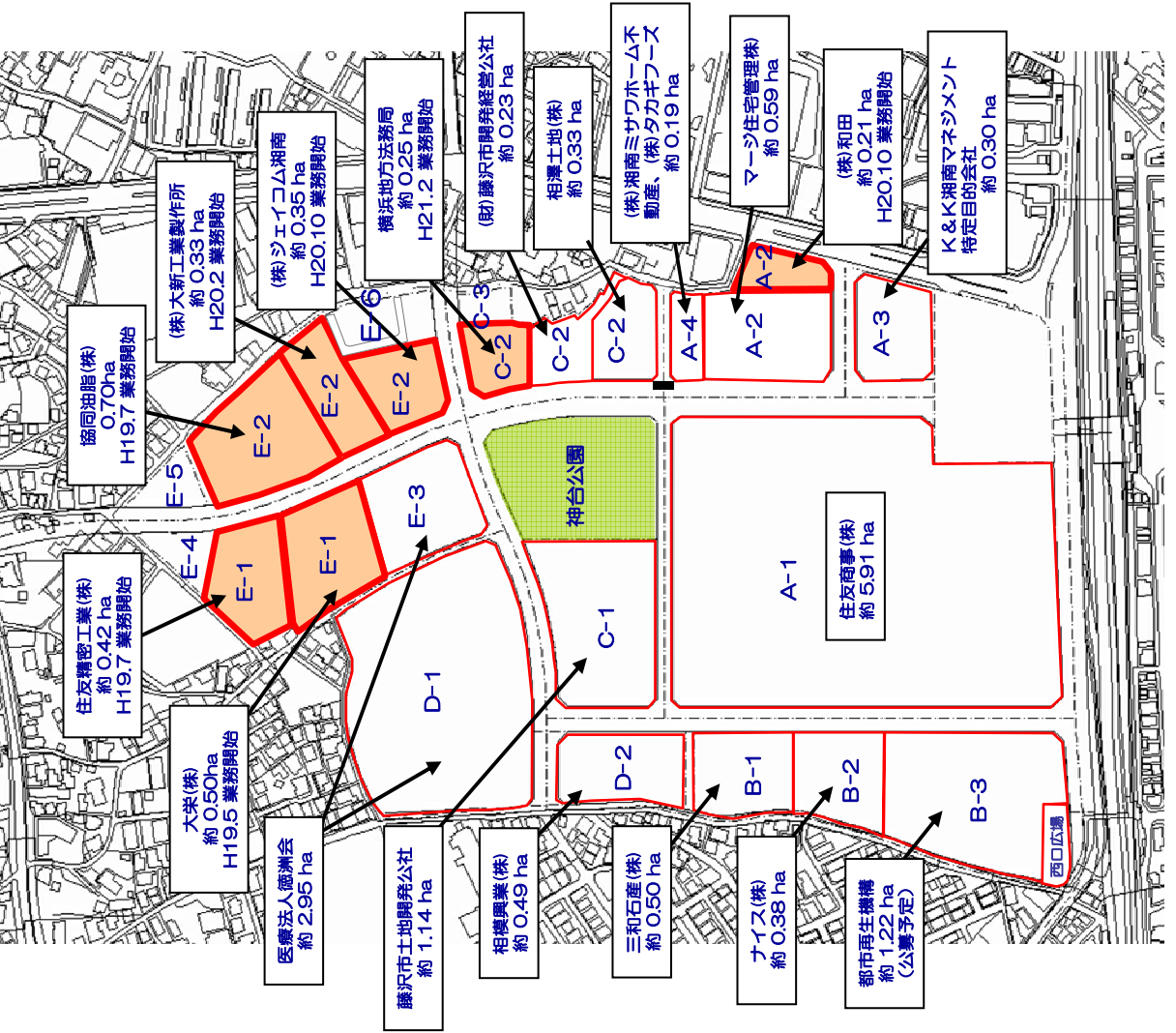
本年3月11日に供用開始した辻堂神台東西線は、一部一方通行区間がありました。7月16日（木）午前11時から全面相互通行となりました。

これに伴い、辻堂神台二丁目交差点の信号が廃止となり、辻堂駅北口交通広場へのバスルートが下図のように変わりました。

また、辻堂駅北口大通り線の現在整備中の区間も、9月末には完成し、10月には、国道1号までの全区間が供用開始となる予定です。



進出事業者の事業概要及びスケジュール



| ゾーン名 | 企業名 | 事業概要及びスケジュール |
|------------|---|--|
| 医療・健康増進ゾーン | (D-1, E-3) 医療法人徳洲会 | 高度先端医療及び地域基幹病院機能等を有する総合病院 平成21年度内着工～平成23年度内完成予定 |
| | (D-2) 相模興業(株) | メディカルフिटネス 平成22年9月着工～平成23年10月完成予定 |
| | (C-2) 相澤土地(株) | 公共サービス機能及び業務機能 平成22年8月着工～平成24年2月完成予定 |
| | (A-4) (株)湘南ミサワホーム不動産 (株)タカギフーズ (C-2) (財)藤沢市開発経営公社 | 公共サービス機能及び業務機能 平成21年8月着工～平成22年11月完成予定 (仮)アーバンライフサポートプラザ 基本計画策定中 |
| 複合都市機能ゾーン | (C-1) 藤沢市土地開発公社 | 検討中 |
| | (A-1) 住友商事(株) | 商業施設・アミューズメント等を有する複合都市施設 平成21年度内着工～平成23年度内完成予定 |
| | (A-2) マーシ住宅管理(株) | 商業・業務・文化機能等を有する複合都市施設 平成21年11月着工～平成23年1月完成予定 |
| | (A-3) K&K湘南マネジメント特定目的会社 | 商業・業務機能等を有する複合都市施設 平成21年8月着工～平成22年11月完成予定 |
| | (B-1) 三和石産(株) | 都市型住宅 平成21年10月着工～平成23年2月完成予定 |
| | (B-2) ナイス(株) | 都市型住宅 平成21年12月着工～平成23年3月完成予定 |
| | (B-3) 都市再生機構 | 都市型住宅 平成21年度 再公募予定 |
| | (C-2) (株)湘南ミサワホーム不動産、(株)タカギフーズ | 公共サービス機能及び業務機能 平成21年8月着工～平成22年11月完成予定 |
| | (A-2) マーシ住宅管理(株) | 商業・業務・文化機能等を有する複合都市施設 平成21年11月着工～平成23年1月完成予定 |
| | (A-3) K&K湘南マネジメント特定目的会社 | 商業・業務機能等を有する複合都市施設 平成21年8月着工～平成22年11月完成予定 |

凡例 業務開始

※2009.6.1現在、進出事業者より示されている事業概要及びスケジュールであり、今後変更される場合があります。



【湘南C-X(シークロス)とは】

「複合的(Complex)」の頭と尾を用いて簡略化し、「C」はCity(都市)・Culture(文化)・Sea(海)を表し、「X」はCross(辻)を意味し、湘南に代表される、自然・文化・都市がクロスし発展するよう、一般公募により選ばれた街の愛称です。

発行元：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

事務局
藤沢市役所 計画建築部 辻堂駅前都市再生担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL0466-50-3552 FAX 0466-29-1353
Eメール：tujitosi@city.fujisawa.kanagawa.jp

※ お問い合わせは、電話、FAX、Eメールで事務局までお寄せください。

辻堂駅前都市再生担当のホームページにもニュースを掲載しています。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tujitosi/>